

“忬度”と“らしさ”から考えるコンプライアンス ～ケーススタディを基に、不祥事を起こさない企業風土について考える～

◇日時◇ 2018年10月23日(火)13:30～16:30

◇会場◇ 東京・麹町『企業研究会セミナールーム』

◇講師◇ 鈴木 悠介 氏 西村あさひ法律事務所 弁護士(元 TBS 報道記者)

2007年東京大学法学部卒、(株)TBS テレビ入社。社会部などで報道記者として事件・事故取材にあたる中で「評論家で終わるのではなく、当事者とともに、問題の解決にあたりたい」との思いを強くし弁護士を目指す。現在は、企業不祥事対応や訴訟案件等に従事しながら、最近では、AI(人工知能)と法に関する業務分野についても取り組む。公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会正会員、一般社団法人人工知能学会正会員。主な著書に、「元報道記者の弁護士が提言 メディアの動きを先読みする広報になる！」(広報会議、2016年4月から連載中)、「AIの発展・活用に伴って重要となるであろう会社法の実務上・解釈上の視点」(資料版 商事法務 399号)、「『忬度』から考える企業不祥事～忬度の『効能』と『副作用』」(西村あさひのリーガル・アウトLOOK、2017年6月)、「不祥事による負のスパイラルを断ち切るには～企業に求められる不祥事の事後対応～(会社法務 A2Z 2017年8月号、8頁)など多数。

◇参加対象◇ 法務部門、総務部門、監査部門のご担当者

開催にあたって

いわゆる「森友問題」をきっかけに世間の注目を集めた「忬度」という言葉ですが、本来、忬度は適切になされる限り、組織の意思決定やコミュニケーションを円滑化させる「妙薬」となるはずのものです。しかし、元報道記者・弁護士としての視点から、数多くの企業不祥事を分析してみると、そこには忬度と組織的な不祥事との繋がりが見て取れるのも事実です。

本セミナーでは、とある企業をモデルとしたケーススタディを通じて、過度な忬度や忬度の常態化が企業不祥事に繋がっていくメカニズムを明らかにすることで、受講者の皆様には、企業不祥事を起こさない企業風土作りに役立つ気付きを得てもらいたいと考えています。どこの組織にも「忬度」はある以上、このケーススタディは、他人事とは思えないはずで。

また、「忬度」とならんで、「らしさ」というキーワードを通じて、企業不祥事を分析してみると見えてくるものもあります。「らしさ」の欠如が企業不祥事に繋がったケースもあれば、逆に、過度な「らしさ」の追求が企業不祥事に繋がったケースもあります。こうした「らしさ」を意識したコンプライアンス意識の向上策についても、詳しく解説いたします。

- * 申込書にご記入いただいた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業や刊行物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。
- * 「セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより [TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問]をご参照下さい。

【受講料】 1名 <税込>

正会員	32,400円 本体価格 30,000円	一般	35,640円 本体価格 33,000円
-----	-------------------------	----	-------------------------

申込方法 当会ホームページよりお申込みください。
<https://www.bri.or.jp> *その他セミナーの最新情報もご覧いただけます。

企業研究会セミナー

- ◎お申込み:当会ホームページまたはE-mailでお申込み下さい。
- *お申込み後(開催1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送りいたします。
- *最少催行人数に満たない場合ほか、諸般の事情により開催を中止させていただく場合もございます。
- *会員企業一覧は当会ホームページでご確認いただけます。(http://www.bri.or.jp)
- *お申込み後のキャンセルは原則としてお受けいたしかねますのでご出席できない場合は、代理の方のご出席をお願いいたします。
- *FAXでお申込みの際、「0(ゼロ)発信のFAX機」をご使用の場合は、必ず「0」を押してから、番号入力をお願いいたします。(別番号への誤送信にご注意下さい。)

【申込先】 一般社団法人 企業研究会 担当:金井
E-mail:kanai@bri.or.jp
〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル2階
TEL.03-5215-3550 FAX03-5215-0951

181674-0303	2018.10.23	「忬度」と「らしさ」から考えるコンプライアンス	
会社名			
住所	〒		
部課 役職		フリガナ お名前	
TEL	FAX		
E-mail			

“忖度”と“らしさ”から考えるコンプライアンス ～ケーススタディを基に、不祥事を起こさない企業風土について考える～

■日 時：2018年10月23日（火） 13：30～16：30

■講 師：鈴木 悠介 氏 西村あさひ法律事務所 弁護士(元 TBS 報道記者)

◆ プログラム ◆

-解説-

13:30

1. これまでの企業不祥事との関わり

- (1) 元テレビ局の報道記者として
- (2) 企業不祥事を多く取り扱う弁護士として
- (3) 多くの企業不祥事に共通する要素とは

2. “忖度”とは

- (1) “忖度”の本来の意味は
- (2) これまでの“忖度”という言葉はどのように使われてきたのか
- (3) “忖度”は、日本特有の文化？

3. とある企業をモデルにしたケーススタディ

- (1) 経営危機に苦しむ名門企業をV字回復に導いた一人の幹部
- (2) 幹部に対する“忖度”が名門企業にもたらしたもの
- (3) 忖度される側のストーリーと忖度する側のストーリーの乖離

4. “忖度”の効能と副作用

- (1) “忖度”には効能もあれば、中毒性・副作用もある
- (2) “忖度”の副作用の4類型
- (3) “忖度”の各副作用からもたらされる企業不祥事の4類型

- ①暴走型
- ②あうんの呼吸型
- ③佞臣型
- ④ガラパゴス型

5. “忖度”の副作用が生じやすい組織、副作用の抑え方

- (1) 忖度する側の立ち居振る舞いではなく、忖度される側の立ち居振る舞いが重要
- (2) “忖度”がもたらすコミュニケーション不全
- (3) 山本七平氏の「空気の研究」から学ぶ

6. “らしさ”から考えるコンプライアンス

- (1) “らしさ”の欠如がコンプライアンス違反に繋がった例
- (2) “らしさ”の追求がコンプライアンス違反に繋がった例
- (3) “らしさ”を意識したコンプライアンス意識の向上策とは

16:30

<質疑応答>